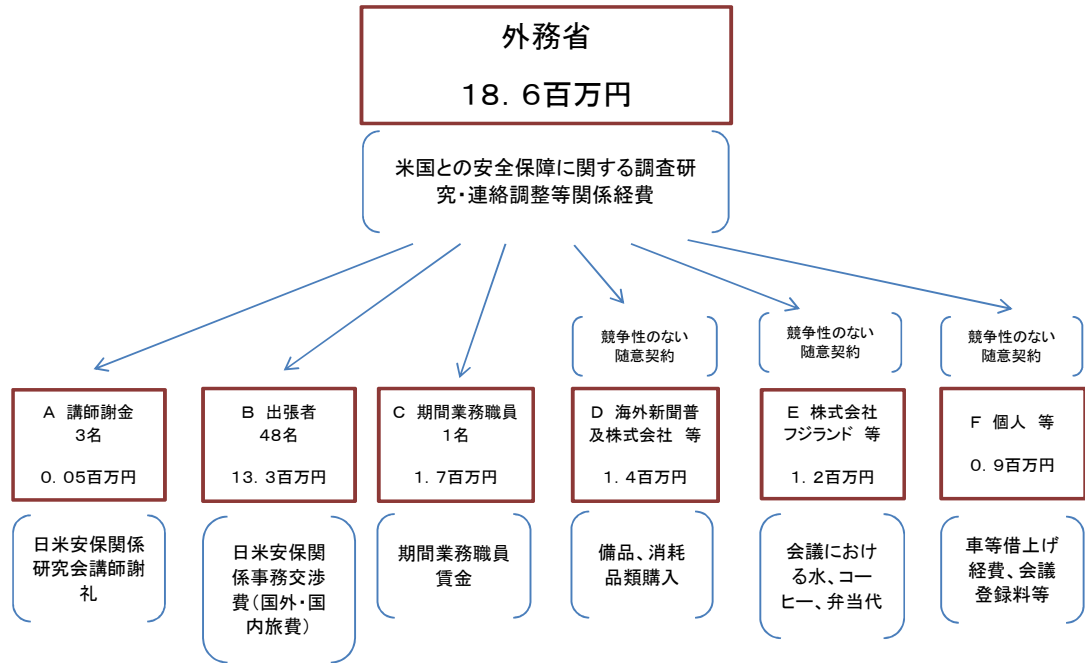


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	安全保障に関する調査研究・連絡調整等関係経費		担当部局庁	北米局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和33年度開始		担当課室	日米安全保障条約課		課長 船越 健裕		
会計区分	一般会計		施策名	北米地域外交に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米相互協力及び安全保障条約並びにこれに基づく地位協定等の運用に関する調査研究・連絡調整等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日米安保体制の堅持は我が国安全保障政策の重要な柱の一つ。日米安保体制を円滑かつ効果的に運用していく上で、米国の軍事防衛関係情勢に関する情報収集・調査・分析を行う他、米国政府との協議、在日米軍を抱える地方公共団体との連絡・調整等の施策を行っていくことが必要。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	15	17	16	17	17	
	執行額		18	19	19			
	執行率(%)		123.6%	114.2%	113.4%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	成果目標は、米国との協力関係の維持を通じた日米安保体制の確保(安保条約の延長)。成果実績を客観的指標で示すことは困難であるが、参考となり得る関連指標として、米国一般人に対する対日世論調査(米国は現在の日米安全保障条約を維持すべきと考えたと回答した人の割合)を採用。		成果実績		78.0%	87.0%	90.0%	92.0%
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	出張回数		活動実績 (当初見込み)	回	130	126	109 (77)	— (78)
単位当たりコスト	121,917(円/回)		算出根拠	出張実績額÷回数				
平成23 (単・2 位:4 千円 年度 予算 内訳)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	12,245	12,329					
	その他(会議費等)	2,498	2,265					
	人件費	1,927	2,061					
	講師謝礼	340	213					
計	17,010	16,868						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	安全保障分野における日米間の協力関係を強化するとともに、日米安保体制の円滑かつ効果的な運用を図ることは、我が国並びにアジア太平洋地域の平和と安定を促進する上で必要不可欠であると共に極めて有意義である。 旅費類については、各出張の必要性を精査した上で支出している。消耗品、物品購入、事務用品修理費等については、主に見積もり合わせ（少額随意契約）による価格比較を行った上で選定業者、単価契約業者等に支出している。期間業務職員給与については、課室員の指導の下、当課の必要不可欠な戦力として事務を支えている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し、単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減（事業見直し、単価見直し等による減）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	B.出張者					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)			
	旅費	外国旅費	7.9			
	旅費	国内旅費	4.9			
	旅費	有識者等への外国旅費	0.4			
	旅費	有識者等への国内旅費	0.1			
	計		13.30	計		0.0
	C.期間業務職員					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	期間業務職員給与	1.7			
	計		1.7	計		0.0
	D.海外新聞普及株式会社 等					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	定期刊行物購入	0.9			
	その他	備品購入	0.3			
	その他	消耗品購入	0.2			
	計		1.4	計		0.0
	E.株式会社フジランド 等					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	会議用水・コーヒー、弁当等	0.6			
	その他	会食等	0.6			
	計		1.2	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	研究会講師謝礼	0.02		
2	個人B	研究会講師謝礼	0.01		
3	個人C	研究会講師謝礼	0.01		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	国内・国外出張費	2.7		
2	出張者B	国内・国外出張費	2.2		
3	出張者C	国内・国外出張費	1.2		
4	出張者D	国内・国外出張費	0.8		
5	出張者E	国内・国外出張費	0.4		
6	出張者F	国内・国外出張費	0.4		
7	出張者G	国内・国外出張費	0.4		
8	出張者H	国内・国外出張費	0.4		
9	出張者I	国内・国外出張費	0.3		
10	出張者J	国内・国外出張費	0.3		

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	期間業務職員給与	1.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	海外新聞普及株式会社	定期刊行物	0.5	随意契約	—
2	(株)イワナシ	FAX機買い替え	0.3	随意契約	—
3	(株)文研堂書店	定期刊行物、執務参考図書	0.3	随意契約	—
4	(株)ぎょうせい	追録書籍	0.1	随意契約	—
5	(株)全販	定期刊行物	0.06	随意契約	—
6	(株)富士ゼロックス	消耗品購入	0.05	随意契約	—
7	(株)日刊建設工業新聞社	定期刊行物	0.05	随意契約	—
8	(株)文祥堂商事	消耗品購入	0.02	随意契約	—
9	サン株式会社	消耗品購入	0.03	随意契約	—
10	丸善株式会社	消耗品購入	0.01	随意契約	—

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)フジランド	会議用水、コーヒー、弁当手配	0.6	随意契約	—
2	グランドハイアット東京	会食	0.2	随意契約	—
3	(有)日比谷 松本楼	会食	0.1	随意契約	—
4	(株)国立京都国際会館食堂	会食	0.05	随意契約	—
5	(株)大東企業	会食	0.04	随意契約	—
6	(株)ラムラ	会食	0.03	随意契約	—
7	(株)パノラマホテルズワン	会食	0.03	随意契約	—
8	コーヒーコーヒー虎ノ門店	コーヒー手配	0.03	随意契約	—
9	(株)キョウカ	弁当手配	0.02	随意契約	—
10	(株)ベイス	弁当手配	0.02	随意契約	—

F

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	国際会議登録料	0.2	随意契約	—
2	日本交通株式会社	車輛借上げ(ゲイツ米国防長官訪日)	0.2	随意契約	—
3	シルバータクシー(株)	車輛借上げ(大臣佐世保訪問)	0.1	随意契約	—
4	日本空港テクノ株式会社	空港貴賓室借上げ(ゲイツ米国防長官訪日)	0.1	随意契約	—
5	国際ハイヤー(株)	車輛借上げ(大臣横須賀訪問)	0.1	随意契約	—
6	(株)ホテルオークラ	連絡室借上げ(ゲイツ米国防長官訪日)	0.1	随意契約	—
7	個人B	国際会議登録料	0.04	随意契約	—
8	トップツアー(株)	航空機特別席料(大臣沖縄訪問)	0.03	随意契約	—
9	個人C	公用携帯電話修理費	0.01	随意契約	—
10	個人D	公用携帯電話修理費	0.01	随意契約	—